

文部科学省特選 2022年教育映像祭優秀作品賞

結城紬（ゆうきつむぎ）は、1956年（昭和31年）に重要無形文化財に指定され、その保持団体として、1976年（昭和51年）に「本場結城紬技術保持会」が認定を受けた。

映画は、結城紬が織りあがるまでの4年間に記録した。

■協力

本場結城紬技術保持会 結城市 東京国立博物館 日本民藝館

重要無形文化財結城紬技術保持会

外山織物 五十嵐染色店 横島紬整理 奥順株式会社

本場結城紬染織資料館「手織里」 お茶の水女子大学（『毛吹草』）

（株）DNP アートコミュニケーションズ

小山農業協同組合営農部農畜産課 ゆうきフィルムコミッション

他



結城紬（ゆうきつむぎ）は、古来の紬の製法をよく伝えているといわれている。真綿からの糸つむぎ・手くびりによる緋模様・いざり機での織りなどの伝統的な技術を「本場結城紬技術保存会」の会員が中心となって今に伝えている。精緻な緋模様で知られる結城紬だが、なかでも、地元でベタ亀甲（きっこう）と呼ばれる同じ亀甲模様が着物全体に入る柄は、織り幅に入る亀甲模様が小さくなればなるほど、高度なわざが必要となる。

この映画では、真綿の糸とりから始まり、160亀甲の緋くくりから織り上がるまで、『平結城亀甲緋百六十通し男物（ひらゆうききっこうかすりひゃくろくじゅうとおしおとこもの）』が完成するまでを記録した。

記録

フィルム

カラー／47分

日・英語版

■企画

文化庁

スタッフ

■製作

山本孝行

■脚本・演出

井手洋子

■演出助手

細矢知里

■撮影

藤原千史

■撮影助手

鈴木一郎

邊母木伸治

木村鉄男

加藤航平

今野聖輝

■照明

野本敏郎

■照明助手

池田義郎

小岩 強

■録音

荒井富保

藤林 繁

■タイトル

津田輝王

関口里織

■編集

石井香奈江

■ネガ編集

幸地甫之

■選曲

徳永由紀子

■録音スタジオ

アオイスタジオ

■現象

IMAGICA EMS

■語り

古館寛治

ふせえり